

# e-NEXI

2018年10月号

▶特集

カナダ輸出開発公社（EDC）との再保険協定締結

—本邦企業の国際的な事業展開を積極的に支援— ..... 1

▶カントリーレビュー

トルコ：ドル建て預金は減少傾向にあるものの、現在のところ総じて大規模な流出は見られず・・・4

▶NEXI ニュース

「こんな時に役に立つ！貿易保険(事故手続き)」を発行しました ..... 8

発行元

発行・編集 株式会社日本貿易保険(NEXI)

企画室企画グループ

カナダ輸出開発公社(EDC)との再保険協定締結  
—本邦企業の国際的な事業展開を積極的に支援—

9月25日、カナダの輸出信用機関(ECA)であるカナダ輸出開発公社(Export Development Canada、以下 EDC)との間で One-Stop-Shop 再保険協定を締結しました。

署名交換式は、カナダ・オタワのEDC本社において、Benoit Daignault EDC総裁と、当社板東代表取締役社長との間で行われました。今年2018年は、日本がカナダと国交を樹立してから90周年に当たります。この記念すべきタイミングでEDCと再保険協定を調印することができました。



NEXI 板東代表取締役社長(左)、EDC Benoit Daignault総裁(右)

NEXIとEDCは2012年に短期(2年未満)の保険種を対象とした再保険協定を締結しましたが、今回締結した再保険協定は、中長期案件を対象とした相互協定です。本協定の締結により、NEXIとEDCがOne-Stop-Shop再保険という形で協力して、日本、カナダの両国企業の輸出をより包括的に支援することが可能となります。NEXIはこれまでに欧州やアジアの14の輸出信用機関とOne Stop Shop再保険協定を締結しており、本協定は15番目となります。ちなみに、短期及び中長期案件の両方を対象としてNEXIが再保険協定を締結するのは、カナダEDCがはじめてとなります。

NEXI は今後とも再保険を通じた外部機関との協力により、本邦企業の国際的な事業展開を積極的に支援してまいります。

(参考1:EDC)

正式名称	Export Development Canada 通称:EDC
所在地	150 Slater Street Ottawa, ON K1A 1K3
職員数	1,482名
業務概要	直接融資、投資、輸出保険、投資保険、保証等

(参考2:One-Stop-Shop 再保険)

日本企業が外国企業と共同で第三国におけるプロジェクトに参加する場合に、NEXI が日本からの輸出部分等のリスクを引き受けることが可能となります。例えば、日本企業が外国企業とコンソーシアム(企業連合)を組んで第三国へ輸出を行う場合、外国企業が日本企業輸出部分を含めた輸出契約金額全体について自国のECAと保険契約を締結し、その上で日本企業輸出部分については、その外国ECAからNEXI が再保険の引受を行います。

複数国の企業が参加する輸出契約全体について、ひとつの窓口で貿易保険の申込みができるため、One-Stop-Shopと呼ばれています。

(参考3:これまでの One-Stop-Shop 再保険一覧)

サービス提供時期	ECA(元受パートナー)	所在国
2002年	イタリア外国貿易保険株式会社(SACE)	イタリア
2002年	アトラディウス信用保険会社(ATRADIUS)	オランダ
2002年	ベルギー信用保険会社(ONDD)	ベルギー
2003年	ユーラー・ヘルメス信用保険会社(EULER HERMES)	ドイツ
2003年	オーストリア管理銀行株式会社(OeKB)	オーストリア
2004年	米国輸出入銀行(US EXIMBANK)	アメリカ
2004年	フィンランド輸出信用会社(FINNVERA)	フィンランド
2005年	オーストラリア輸出信用機関(EFIC)	オーストラリア
2005年	スペイン輸出信用保険会社(GESCE)	スペイン
2007年	スイス連邦輸出信用機関(SERV)	スイス

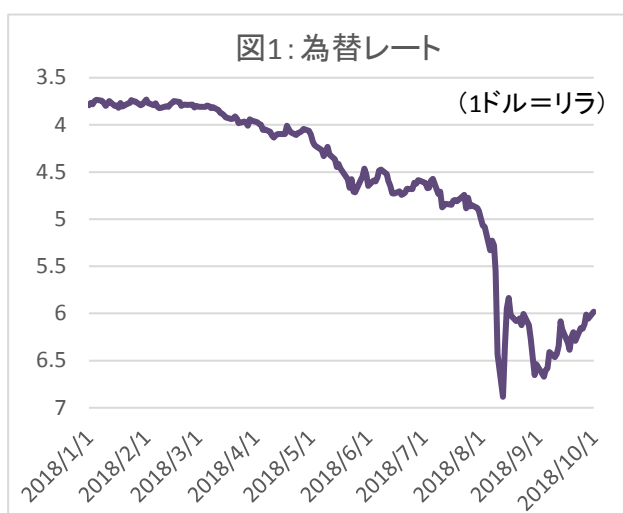
2011年	韓国貿易保険公社(K-sure)	韓国
2016年	フランス公的投資銀行(Bpifrance)	フランス
2017年	チェコ輸出保証・保険公社(EGAP)	チェコ
2017年	英国輸出信用保証局(UKEF)	英国

## &lt;&lt;カントリーレビュー&gt;&gt;

**トルコ：ドル建て預金は減少傾向にあるものの、現在のところ総じて大規模な流出は見られず**

審査部カントリーリスクグループ 安田 桃生<sup>1</sup>

## 1. 通貨の大幅下落を招いた2つの要因



2018年1月～4月までの期間、為替レートは1ドル=3.7リラ～4.1リラの範囲で概ね安定して推移していた。しかし、4月後半以降はトルコ・リラの下落が進み、8月10日には、「トルコ・ショック」と呼ばれる大幅安が発生した(図1を参照)<sup>2</sup>。この通貨下落の要因は、主に次の2つによる。ひとつは同国政府の不透明な経済運営(中銀の独立性への懸念<sup>3</sup>など)、もうひとつは対米関係の悪化であった<sup>4</sup>。前者については、9月13日に大幅な利上げ(政策金利: 17.75%→24%)が行われ、中銀の独立性は一定程度確保

されていることが確認された。しかし、後者については、状況に大きな変化は見られない。例えば、トルコ政府は8月10日の米国の関税引き上げに対して、報復関税を発動した(8/15)。また、9月26日にはトルコ外相は米国が対イラン制裁を再開しても「イランとの貿易取引は継続する」と主張し、あくまで強硬姿勢を崩していない。現在(10/2)、トルコ・リラは1ドル=6リラ近辺で落ち着きを見せているものの、今後、米国との関係が一段と悪化すると、為替レートはさらに下落する恐れがある。

<sup>1</sup> 本カントリーレビューの中の意見や考え方に関する部分は筆者個人としての見解を示すものであり、日本貿易保険(NEXI)としての公式見解を示すものではありません。尚、信頼できると判断した情報等に基づいて、作成されていますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。

<sup>2</sup> 米国がトルコからのアルミと鉄鋼の輸入に対して、関税を大幅に引き上げたことが発端となり、1日で通貨が20%超下落した。

<sup>3</sup> 同国では、年率10%を超える高インフレが続いていたため、政策金利の引き上げの必要性が高まっていた。しかし、同国政府はこれによる経済の減速を嫌い、中銀に対して大幅な金利の引き上げを行わないよう圧力をかけていたと報道されている。

<sup>4</sup> トルコ当局は、2016年のクーデター未遂に関与した疑いで米国人牧師を収監した。米国側が牧師の解放を求めてもトルコ側は応じなかったため、米国はトルコ外相及び内相に対して制裁を発動した。8月10日の関税引き上げは、この牧師解放問題が一因であったと報道されている。また、トルコ大手のハルク銀行が米国の対イラン制裁法に抵触したとして、米当局による捜査を受けている。かかる事情もあり、トルコ政府は米国の対イラン制裁を支持していない。

## 2. 年間の対外借入の多くは銀行セクター

この通貨の大幅下落は、同国の対外債務の返済にどのような影響を与えるのであろうか？マーケットは、特に銀行セクターの対外借入の動向に注目している。ここで、2017年と2018年の年間の対外借入額の内訳を見てみよう(右記表を参照)。これによると、短期及び中長期<sup>5</sup>における政府借入の割合が極めて小さい一方で、銀行の借入の割合が大きいが分かる。さらに、短期と中長期別で見ると、短期は全体の約65%を占め、その短期の約60%は銀行セクターとなっている。

この表が示唆しているのは、対外借入の多くは銀行セクターが行っており、とりわけ短期の借入の割合が大きいということである(2017年の銀行セクターの短期の借入額は、実に外貨準備高の67%に匹敵する)。銀行の経営状況が良好であれば、対外借入は特段の問題なく行えるであろう。しかし、通貨の大幅な下落で、経営環境が深刻化し、財務状況の悪化(の兆し)がみられると、対外借入は困難となり、債務返済に支障が生じてくる。このような現象が複数の(大手)銀行でみられるようになると、いわゆる“金融危機”に発展することとなる。

表: 年間の対外借入額の内訳

(10億ドル)

	2017	2018 (予測)
<b>中長期借入</b>	<b>60.1</b>	<b>68.5</b>
(うち政府)	2.1	5.6
(うち銀行)	37.0	34.5
(その他)	21.0	28.3
<b>短期借入</b>	<b>112.6</b>	<b>128.6</b>
(うち政府)	0	0
<b>(うち銀行)</b>	<b>66.5</b>	<b>71.9</b>
<b>(その他)</b>	<b>46.2</b>	<b>56.7</b>
<b>合計</b>	<b>172.7</b>	<b>197.1</b>
<b>外貨準備高</b>	<b>107.7</b>	—

(出所)IMFレポート(2018年4月)より、NEXI作成

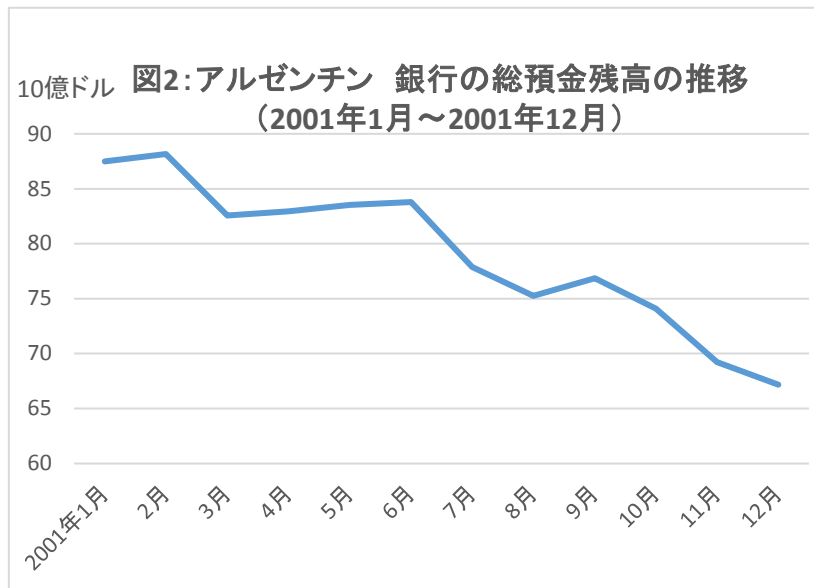
## 3. 預金額の推移

金融セクターに混乱の予兆があるのかどうかをチェックする方法はいくつかあるが、ここでは預金額の推移に着目してみたい<sup>6</sup>。例えば、2001年12月に南米のアルゼンチンで通貨・金融危機が生じた時、同国では大幅な預金の取り崩しがみられた。2001年1月の総預金残高は、870億ドルであったが、通貨ペソと金融システムに対する信認が低下したことともない、同年12月の同預金額は670億ドルへと大幅に減少した(図2を参照)<sup>7</sup>。この結果、同年12月に預金封鎖が実施されるとともに、外貨交換・海外送金に制限が課された。

<sup>5</sup> 中長期借入は償還期限が1年以上、短期借入は償還期限が1年未満の借入を指す。

<sup>6</sup> より包括的な分析を行うには、銀行の自己資本比率や不良債権比率などのリスク関連指標もチェックする必要がある。しかし、一般に、「元利金が返済期日から90日経っても返済されない債権」が不良債権に分類されるため、「トルコ・ショック」以降どれくらいの不良債権が発生しているのかは、現時点では把握できない。

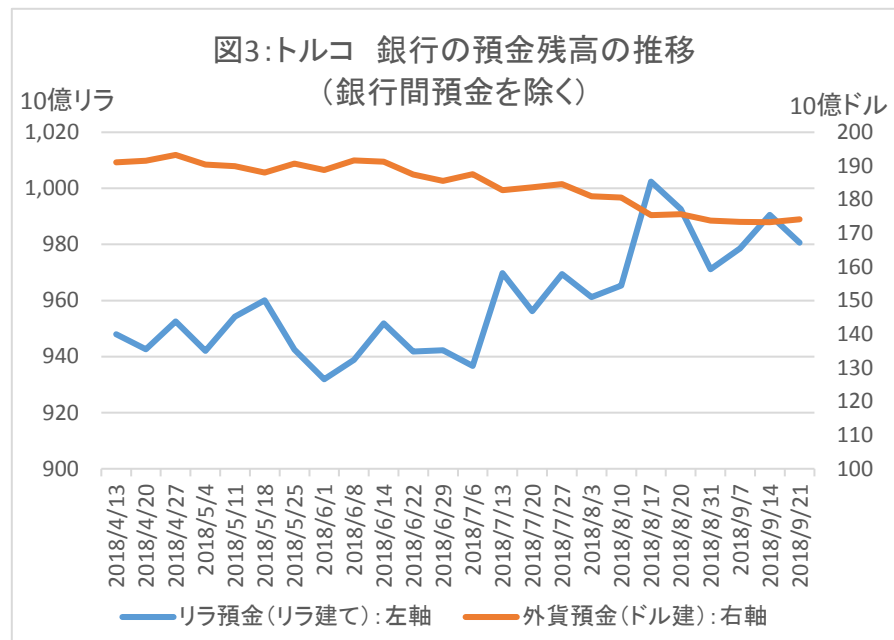
<sup>7</sup> 図2は総預金残高(外貨預金とペソ預金の合計)の推移。2001年当時、1ドル=1ペソのカレンシーボード制が採用されており、米ドルとペソは法律上等価であった。



(出所) アルゼンチン中央銀行より、NEXI 作成

他方、トルコの2018年4月以降の預金額の推移は図3のとおりである。外貨建て預金は2018年4月の1,900億ドルから9月には1,740億ドルへと徐々に減少した一方で、直近のリラ建て預金は4月時点よりも増加している。つまり、現在のところ、外貨建て預金の減少はみられるものの、2001年にアルゼンチンが経験したような大規模な預金の流出は確認できない。リラ建て預金についてはむしろ増加している。これについては、次のような背景があると思われる。ひとつは、政策の変更である。トルコ中央銀行は2018年8月13日、国内銀行が中央銀行に預けるリラ建て預金の準備率を全ての償還期間に対して250

ベースポイント(bp)引き下げ、一部の外貨建て債務(償還期間3年までが対象)に対する預金準備率を、400bp引き下げることと決定した<sup>8</sup>。さらに8月31日、大統領令により外貨建て預金への税金を引き上げ、リラ建て預金への税金を引き下げた。



(出所) トルコ銀行調整監視機構(BDDK)より、NEXI 作成

<sup>8</sup> これにより、銀行セクターには約100億リラ、60億ドル、30億ドル相当の金が供給されることになったといわれている。



また、採用している為替制度の違いも関係していると考えられる。アルゼンチンでは2001年当時、1ドル=1ペソのカレンシーボード制が採用されていた。ペソ切り下げ及び金融システムに対する懸念が生じたことから、ペソをドルに交換し、それを海外へ逃避させる現象が見られた。これが、預金の大幅な流出につながった。一方、現在トルコは変動相場制を採用している。このため、通貨リラの下落は預金者の行動に相対的に大きな影響を与えなかったものと思われる。

本稿では、トルコの預金額の推移に着目し、同国の金融セクターに大きな混乱の予兆が生じているのかどうかを見てきた。現在のところ、ドル預金の減少は生じているものの、2001年のアルゼンチンのような大規模な預金流出は確認できなかった。しかし、今後、リラの下落が銀行の資産にネガティブな影響をもたらしているとみられる場合には、預金額の推移に変化が生じてくるものと思われる。引き続き、注意して見ていくこととしたい。

(10月2日記)



「こんな時に役に立つ！貿易保険(事故手続き)」を発行しました。

債権業務部  
査定グループ

「こんな時に役に立つ！貿易保険」シリーズの3冊目として、貿易一般保険、中小企業保険等の保険種を対象とした「こんな時に役に立つ！貿易保険(事故手続き)保険事故発生から保険金請求までのお手続き」を発行しました。

船積前と船積後の保険事故が発生してから保険金の請求・受取りまでの手続きを漫画で分かりやすく解説したパンフレットです。また、「保険事故が発生したら何をすれば良いの」、「NEXI への連絡はいつ、どのようにしたら良いか」、「保険金請求に必要な書類は何を用意したら良いのか」等、日頃からお問い合わせが多い内容を盛り込みました。なお、増加費用保険の事故の場合の手続き及び回収ステージにおける手続きに関する内容は含まれていませんので、ご了承ください。



NEXI 本店及び大阪支店で保管しておりますので、御入用の方は、NEXI までご連絡ください。また、当社ホームページにもデジタルパンフレットを掲載しています。

[https://www.nexi.go.jp/product/booklet/pr\\_jiko/index\\_h5.html](https://www.nexi.go.jp/product/booklet/pr_jiko/index_h5.html) ぜひご一読ください。